

単元名 おんがくランド(1)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けることができる。
 (2) 旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと
 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつことができる。
 (3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

01070105_001

【教材名】大きなかぶ（歌唱）（P. 62～P. 63） 校歌（歌唱） きみがよ（歌唱）（P. 7
 0～P. 71）

【準備等】範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 振り付けを工夫して「大きなかぶ」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「大きなかぶ」を聴唱法で歌う。 ★リズムにのって、楽しく歌おう ○役割分担をして歌う。 <p>○グループに分かれ、身振りや掛け声を工夫して歌う。</p> <p>○グループごとに発表する。</p> <p>2 「国歌」「校歌」を自然な発声で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国歌の範唱を聴く。 <p>○国歌を歌う。</p> <p>○校歌の範唱を聴く。</p> <p>○校歌を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴く時、リズムを感じ取らせるために曲に合わせて体を動かすようにしてもよい。 ・おじいさん、おばあさん、孫、犬、猫、ネズミの役割分担をして、①から⑥にかけて歌う人数を増やしていく。 【共通事項】反復 ・6人グループに分ける。 グループ内で役割分担をしたり、曲に合った身振りや掛け声を工夫するよう伝える。 【評】歌詞の表す情景を想像し、旋律の特徴を捉えながら歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・難しい言葉が多いので、言葉や内容を簡単に説明する。 ・曲の中の低い山、高い山となっている盛り上がり、フレーズごとに意識させるとよい。 また、「さざれいし」は、「小さな石」という意味の1つの言葉なので、息継ぎをしないようにさせる。 【共通事項】フレーズ 【評】曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとを関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。 【評】互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う活動を通して「技能」を評価する。 ・校歌の歌詞も、古い言葉が使われていることが多いので、簡単に内容を説明する。校歌には、「こんな子どもに育ってほしい」などの気持ちが込められている。愛校心をもって、大切に歌わせていく。 ・音やリズムの取りにくいところがあれば、取り出してゆっくり練習させる。 【評】旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】